学校法人 浪越学園
日本指圧専門学校

浪越学園だより

JAPAN SHIATSU COLLEGE NEWSLETTER

2018 VOL.18 Dec.

記録的な暑さに負けず 熱く盛り上がった夏の日ー

猛暑の中、大盛況！

毎年好評の学園祭
第14回ゆび祭り

連日猛暑が続く中、第14回ゆび祭りが開催されました。この日の準備のために、学園祭委員は約２か月の準備期間内で企画立案し進めてまいりました。今年は特に２年生が頑張ってくれました。

学園祭の催しですが、中庭では屋台、座位指圧、また、指圧連による阿波踊りの披露があり、校舎内では喫茶、抽選会、ハンドマッサージ、バンド演奏と盛り上がり、毎年好評のチャリティー指圧もたくさんの方が受けに来てくれました。今年は梅雨明けも早く、熱中症も懸念されていたため、たくさんのお客様に来て頂けるのか当日まで心配しておりましたが、思った以上のお客様が訪れてくださったので大成功だったと思います。

学園祭に協力して頂きました先生方、卒業生の皆様そしてお客様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。（学園祭実行委員長　３年Ａ組　齊藤教剛）

２人の卒業生が学園生活と卒業後を語る！

学校説明会

３Cの腕っこきの精鋭部隊が手伝ってくれたので準備は万全！30名の方に学校の説明と卒業生の話を聞いてもらえました。

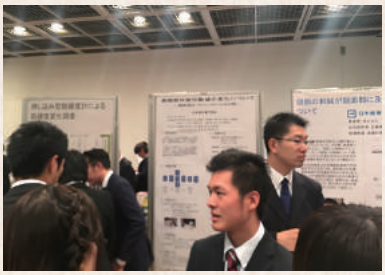
前半の講師は高校卒業後、そのまま本校に入学した57期の千葉先生です。資格取得後すぐに就職し、2年以上経ちました。会社の社長さんにもお越し頂き、就職先で大切にしてもらっているなぁと感じました。後半は社会人、外国生活を経て入学した53期の大久保先生がお話してくれました。外国生活中に、日本の本物の技術を身に付けたいと思い立ち、本校入学を決めたそうです。

入学前に学園祭やオープンキャンパスに参加した学生さんもいるでしょう！　学生となった今、益々楽しんで下さいね！

そして、今度はお手伝いもお願いします！（教員　渡邉和雄）

運動器をテーマにした発表で医歯薬出版社賞を受賞

公益社団法人東洋療法学校協会主催「第40回学術大会」に参加して



10月5日（金）北区王子にある“北とぴあ”にて東洋療法学校協会-第40回学術大会が開催されました。東京での開催でしたので、全学生が会場に向かいました。

日本指圧専門学校の今年度は「肩関節外旋可動域の変化について―胸部指圧、ストレッチによる比較―」というテーマでポスター発表を行いました。

昨年度までは自律神経系の内容が続いていましたが、これまでの研究を辿ると運動器のテーマが少なかったこと、刺激部位で胸部指圧における変化を観たいということが、今回のテーマのきっかけとなりました。これまでとテーマが大幅に変わったため、実験手順も一から組み立てて、研究会員一丸となって取り組みました。

力を合わせたおかげで、見事「医歯薬出版社賞」を受賞することができました。これもひとえに、研究室に度々足を運んでくださった被験者の方々、浪越理事長、石塚校長、様々アドバイスをくださった教務の先生方のおかげです。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。これからも指圧研究会への応援、よろしくお願い致します！（指圧研究会顧問　田中智子）

卒業生の話や在校生による指圧体験から自分の働き方をイメージ

2018年度オープンキャンパス開催

夜間部の卒業生に“働きながら通学の実際”を尋ねる参加者が多く見られました

今年も卒業生の方に、在学中や卒業後の仕事や業界のことなどについてお話して頂くコーナーを設けています。毎回違う卒業生にお話して頂くので、指圧師としての色々な働き方について聞くことができ、参加者の方々はもちろん学生にとっても貴重な機会となっています。

指圧体験の時間は、毎回非常に盛り上がっており、指圧をどうやるか教わった参加者の方々からは「もっと詳しく知りたい！」「学生さんの指圧が良かった！」などのお声を頂いております。学生さんが参加者の方々に指圧を教えている様子は、本校のアットホームな校風そのものだと感じられます。学生さんとお話しすることで、学校生活についてよりイメージすることができているようです。いつもお手伝いに来てくださっている学生さんたちありがとうございます。今後ともご協力をお願いいたします！

オープンキャンパスはホームページ、または電話で事前申し込みを受け付けております。

（事務局　棚澤真澄）

マインドフルネスの概念に共感

東洋療法学校協会・第42回教員研修会に参加して

2018年8月6、7日に東洋療法学校協会主催の第42回教員研修会がメルキュールホテル横須賀にて開催されました。今回のテーマは『ストレス・マネージメント：教員のバーンナウト予防のパラダイムシフト』です。あはき（あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師）教員の人材が限られている以上、人的損失を食い止めるためにも、今回のテーマのような観点は今後さらに重要性を増していくと考えられます。

講演では、心理療法家の川畑のぶこ氏より精神面でのセルフケアとして、昨今話題となっているマインドフルネスが紹介されました。今回の会場では、頭頂部からつま先まで、くまなく意識を下ろしていくボディスキャンマインドフルネスが川畑氏の導入により行われました。氏の声があまりにも心地よく、初心者の私にとっては（むしろ会場全体にとって）睡眠の時間と化してしまいましたが、「思考への執着を捨てる」というマインドフルネスの概念には大いに共感するところがあるので、今後の自己課題として取り組んでいきたいと思いました。（教員　大木慎平）

指圧好きな優しい高校生に明るい未来を感じて

つくば・高松・札幌・鹿児島・新潟で開催した進学FESTAに参加して

高校生に指圧を知ってもらうため、また進路の選択肢に日本指圧専門学校を入れていただくため、高校生を対象とした進学説明会に参加しました。

本年は、茨城県つくば市（5月）、香川県高松市（6月）、北海道札幌市（9月）、鹿児島県鹿児島市（7月）、新潟県新潟市（7月）の5カ所に参加し、合計89名の高校生と面談することができました。

北海道は地震の直後で開催が危ぶまれましたが、札幌市当局からもぜひ実施して欲しいとの要請があり5％の節電の中、実施されました。

説明会に参加して驚いたことは高校生が「指圧」という言葉を予想以上に知らないということでした。指圧と書いて、“シアツ”以外に読み方が思いつくことがこちらとしては驚きでしたが、驚く我々をよそに多くの高校生は「指圧」を“ユビアツ”と読んで我々学校職員を驚愕、落胆させてくれました。本校にいると当たり前すぎる指圧という言葉ですが世代によっては読み方すら知らないというのは心に刻むべき事実であると感じました。

そのため、進学説明会という名称でしたが面談を行うと、あん摩マッサージ指圧師という職業は一体何をする仕事なのか？　という業務内容から話す必要があったため、実際は進学説明会というより職業を紹介する機会としての意義が大きかったように思いました。

そのような中、どの会場にも人数こそ多くありませんでしたが「人をマッサージすることが大好き」「両親や同居している祖父母の肩をもんでいる」といった浪越徳治郎先生を彷彿とさせるような、優しい気持ちを持った高校生にも会うことができました。そういったマッサージや指圧が好きな高校生と話をすると技術や知識以前に“手が人に触れ合うことが、大きな力を持つ”ということに高校生でも本能的に気が付く人もいるのだなあと感じました。そんな優しい気持ちを持つ高校生との出会いは、説明会の結果とは別にとても嬉しいことでした。

彼（彼女）らの存在に、大げさかもしれませんが、指圧の未来に、日本の将来に、希望の明かりを見た気がした進学説明会でした。（教務課長　髙橋雄輔）

芸術の都で日本の芸術「浪越指圧」を！

8月にフランス・パリで講習会開催

2018年4月10日14時25分、新校舎12階、理事長室。ミシェル・オドウル氏からのパリの指圧学校での浪越指圧指導依頼に、間髪入れずに快諾した理事長。双方の笑顔で交渉は成立。パリにおける浪越指圧普及の道筋ができる素晴しい会談であった。

2018年8月18日17時20分、シャルル・ド・ゴール空港、渡邉がパリスに上陸！　日本語が通じる人間がいない世界に突入。緊張感なし。大丈夫か。ミシェル氏に電話。英会話に挑戦するもほとんど理解できず。18時10分、ホテル着。ミシェル氏夫妻と合流。食事に出かけ、英会話に再挑戦。よくわからなくても何とかなると実感する。緊張感なし。大丈夫なのか!?

学校HP学園ニュースにてパリ指圧紀行（前・後編）公開中です！

http://www.shiatsu.ac.jp/

（教員　渡邉和雄）

開校20周年記念

9月にカナダ・バンクーバーで講習会開催

2018年9月、本校28期卒業生、池永清先生が『カナダで指圧普及を始めて、今年で20周年!!』という記念すべき年に、池永先生よりバンクーバーに招かれ参加いたしました。

初日の9月23日の午前中は池永先生の指圧クリニックを見学した後、施術をして頂きました。クリニックはとても清潔感があり、リラックスできる空間でした。夜には約50名の関係者が参加された懇親会が盛大に行われました。

翌24日には指圧実技の講習会が行われ、1回目はカナダ指圧カレッジの学生さん、2回目、3回目には教員の方や指圧クリニックで働かれている先生など46名の方が参加してくれました。テーマは、頸部と腹部指圧で、質問に答えながら全員の圧点の位置を確認しながら圧していきました。本校の卒業生もいましたが、特に他校の卒業生が基本指圧を熱心に学んでいました。

祖父・徳治郎の志“海外での指圧の普及”のさらなる発展を目指し、バンクーバーでの益々のご活躍を楽しみにしています。

今回は池永先生をはじめスタッフの皆様の心温まるご厚意に深く感謝いたします。（事務長　浪越雄二）

熱い思いを胸に来日

10月にフランスから来校、講習会を実施

France

10月22～26日の5日間、フランスより17名が浪越指圧実技を受講のため来校されました。

講習担当：1・2日目、最終日＝浪越雄二先生／3日目＝渡邊和雄先生／4日目＝長濱有子先生（通訳：ダニエル・メニニ先生）

講習内容：浪越指圧基本実技・全身指圧

【1日目　浪越指圧について・手指の使い方の説明及び仰臥位】下肢、頭部、顔面、胸部のデモンストレーション後、号令に合わせて、繰り返し基本の圧し方を学んで頂きました。

【2日目　仰臥位、上肢と下肢の復習】1日目の頭部指圧でしっかりと母指や四指の使い方を覚えたようで、下肢の圧し方も格段に上達されていました。特に四指の支えが良くなっていました。学校の授業でも頭部指圧から始める必要性を改めて感じました。

【3日目　横臥位】デモンストレーション後、ペアになり行いました。浪越基本指圧のスタートとなる前頸部は海外では横臥位で施術することが少ないとのこと。質問も多く飛び交いました。

【4日目　伏臥位、仙骨部から足底】デモンストレーション後、皆で号令をかけ練習を繰り返しました。長旅で下肢が疲れているということで、下肢後面の練習を組みました。

【5日目　腹部指圧】浪越先生のデモンストレーションの後、長濱先生の号令で練習。浪越先生の振動掌圧に衝撃を受け、一生懸命真似されていました。

1日3時間という限られた時間でしたが、皆さんの熱い思いが伝わってきて、私たちも大変嬉しく、また勉強になりました。フランスにおいても指圧を広めて頂き、指圧師の地位向上を実現していって頂きたいと強く思いました。（事務局　横塚秀樹）

笑顔で楽しみながら

8月にベトナムから来校、講習会を実施

Vietnam

8月7・8日の2日間、ベトナムより11名が浪越指圧実技を受講のため来校されました。

講習担当：1日目＝浪越雄二先生／2日目＝渡邊和雄先生　（通訳：山田尊康氏）

講習内容：腹部指圧

【1日目】デモンストレーション後、浪越先生が受講者全員に腹部指圧をし、『腹部指圧の神髄』を味わって頂きました。その後、号令に合わせ基本の圧し方を繰り返し行いました。<の>の字型掌圧、腹部20点、小腸部を圧す際は大きな円を描くように圧すというアドバイスに倣って真剣に取り組んでいました。お腹の動きが良くなったと皆驚いた様子でした。

【2日目】1日目の復習。渡邊先生のデモンストレーションの後、受講生同士ペアになって行いました。波状掌圧と振動掌圧は思うようにいかなかったようですが、渡邊先生の丁寧な指導で上手く振動できたペアから喜びの声が上がっていました。

受講者の職業はスパのオーナー、ネイリスト、エステティシャン、ドクター、指圧セラピストなど様々です。“カンボジアに指圧治療院を開業したい”“指圧が好きなので本場の指圧を受講したい”“ベトナムに指圧を広めたい。ベトナムでは指圧は医療と認められおらず、リラクゼーションと一括りにされるのが悔しい。指圧の効果を期待し、医療の分野へ持っていきたい”“指圧セラピストの地位向上のため”と、参加に至る思いを熱く語って下さいました。

笑顔で楽しんで受講されている姿をみて有意義な講習会であったと感じました。是非、ベトナムで指圧の普及と指圧師の地位向上を実現して頂きたいと強く思いました。（事務局　横塚秀樹）

カナダでの就労を説明

11月カナダ・バンクーバー海外留学制度説明会

Vancouver

紅葉の季節、11月に毎年開催しています。第28期卒業の池永清先生は32歳で本校を卒業し、カナダに渡って20年、ワーキングホリデー制度を利用した研修制度を始めて13年目になります。

今年は、30名超の学生が集まりました。筆者の司会進行で、まずは動画で12期生のメッセージ（※）が届けられました。本校卒業生も2名、元気な姿が映し出されました。その後、池永先生より下記について丁寧かつユーモアを交えた説明後、質問に対して親身にお答えくださいました。

- JSC（Japan Shiatsu College）の活動・紹介
- カナダの特色、バンクーバーの暮らし
- 指圧クリニックでの就労
- 渡航時に用意するもの

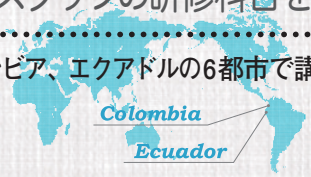
この制度を利用して1年間バンクーバーで過ごした卒業生が、浪越指圧治療センターに勤務しています。指圧も少し覚えた英語も海外で培った経験を活かして元気に活躍しています。

（学校窓口：教務統括課長　黒沢純一）

※YouTube「ジャパン指圧クリニック2018」で検索できます

スパスタッフの研修科目を担当

コロンビア、エクアドルの6都市で講習会



コロンビア5都市、エクアドル1都市における指圧講習を終了しました。現在コロンビアに拠点を置くスパサービスの品質向上を目指すORGANIZACION SPA INTERNACIONALの治療的手技の分野の担当をしており、指圧をカリキュラムに組み込んで頂いたことで、年2回の講習を継続的に行うこととなっています。来年5月には、エクアドル2都市、アルゼンチン、ボリビアまでエリア拡大となりました。「日本の指圧、浪越の指圧」を合言葉に頑張っていきます。（浪越指圧メキシコ指圧協会　会長　浅田秀男）

report

浪越指圧トレーナー部

8/24 ～ 9/1 第18回アジア競技大会 陸上競技の視察に帯同

ジャカルタの会場を視察して

平成30年8月24日～9月1日、第18回アジア競技大会陸上競技の視察に関東学生陸上競技連盟（以下 関東学連）の視察団として帯同させていただきました。海外で行われるスポーツの国際大会は初めての帯同でしたのでご報告いたします。

地域環境：スポーツトレーナーの業務の一つに、「選手への教育的指導」があります。会場のインドネシア・ジャカルタの街の歩道は石畳がはがれ凸凹や陥没していたり、マンホールの蓋が破損していて穴が開いていたりと非常に足元が悪く危険でした（特に夜間）。そのため、事前に地域の状況を知り選手たちへ注意喚起をすることが重要でした。

セキュリティ：国際大会であるということもありセキュリティは非常に厳しいという印象を受けました。各種目の競技場は、公園内に集約されており、まず公園に入る場所で手荷物検査（空港のようなX線検査）とボディチェックが行われ、さらに陸上競技場に入る場所でも同じ検査が行われます。公園のゲートや公園内に警察や軍隊も配備されていました。

この経験を来る2020東京オリンピックで活かせるよう今後もスポーツ分野での活動を継続していきます。（教員　石塚洋之）

厳しいセキュリティ

陸上競技場の様子

天皇賜盃　第87回日本学生陸上競技対校選手権大会

日本大学７連覇達成に貢献！

2018年9月6～9日の4日間、神奈川県等々力陸上競技場において開催された日本インカレにトレーナーとして帯同してきました。4日間、選手の皆さんのコンディショニングとケアを行い、7度目の総合優勝を目指して全力でサポートしました。日本大学7連覇達成！おめでとうございます(^^)貴重な経験になりました！（教員　石塚洋之）

ボランティア指圧

日本大学スポーツ科学部「三茶祭」を終えて
昨年を上回る大盛況

今年で3回目となる三茶祭。年々にぎわいも増す中、自分たちは2回目の参加となりました。

今年は2日間合計で244人という昨年を大幅に上回る人数の方が指圧を受けてくださいました。指圧を初めて受ける方もおられましたが、「すごく気持ちがよかった、ありがとう」などと施術後に言われ、多くの方に指圧の良さを伝えられたのではないかと思います。こうして“指圧の良さを多くの方に伝える”ということも自分たちの大きな役目だと思いました。

また、授業で行う学生同士の練習とは違い、臨床の現場で緊張感のある指圧ができたことが、自分たち学生にとっては大きな経験になり、自信もつけられたと思います。同時に、今回の活動で自分に必要な課題も分かりました。このような機会を与えてくれた先生方、普段からお世話になっている日本大学の方々に感謝し、残りの学校生活、課外活動に精進していきたいと思います。(3年A組　小山田 笑)

第69回お茶の水女子大学学園祭「徽音祭」にて
卒業生とともに指圧

徽音祭(お茶の水女子大学学園祭)に指圧体験コーナーを設置するようになって今回で8年目になりました。本年(11月4日開催)も多くの在校生、卒業生に参加して頂きました。特に本年は卒業生に多数ご参加頂き、休日の忙しい中24名もの卒業生が駆けつけてくれました。在学中に徽音祭の指圧を経験した卒業生が多く参加してくれました。

1年生の参加者の中には、今回が学校の授業以外で初めて人を圧す経験になった学生さんもいたようでした。当初、ぎこちなく指圧する姿も見られましたが、時間が進むにつれて指圧だけではなく来場者との受け答えもスムーズになっていきました。

徽音祭での指圧も8年目にもなると、指圧を受けることを目的に徽音祭に来場される方も多く、お茶の水女子大学の先生や留学生の中にも昨年に引き続き指圧を楽しみに来場してくれた方が多数いらっしゃいました。380名もの多くの方が指圧体験コーナーに足を運んでくださり、指圧を体験して頂くことができました。

普段、臨床に従事する卒業生の施術を目の当たりにし、また、多くの方に指圧の魅力を伝えることが、在校生にとって貴重な経験になったことと思います。在校生と卒業生の指圧を通した素敵な交流の場となった一日でした。(教務課長　高橋雄輔)

第44回礫川マラソンに協賛
受け手の全員に満足していただきました

平成30年11月25日(日)、礫川青少年健全育成会主催、第44回礫川マラソンが開催されました。この催しには、本校も礫川地域に根づいた学校として協賛し、毎年、本校舎第3実技室にてランナーの方々に指圧を受けて頂くボランティアを行っております。

このボランティア指圧は、本校の学生にとっても校外の方に対して指圧を施せる貴重な経験を積める機会であり、今年は昼間部・夜間部合わせて、3年生から5名、2年生から4名、1年生から5名の合計14名が参加しました。近年は、スポーツボランティアの分野で多く行われているベッドでの施術に慣れてもらいたいという観点から、ベッドを用いた指圧に取り組んでいます。施術時間を15～20分程度とし、各自が問診・施術に至るまで全て行いました。慣れないベッドでの指圧に最初は戸惑っていましたが、日頃より基本指圧を練習している成果を発揮し、指圧を受けた35名の方々全員に満足してお帰り頂きました。

「この指圧を受けるのが楽しみで毎年走っているのよ！」という、とてもありがたいコメントを多く頂きます。来年も是非行いますので、学生の皆様の参加をお待ちしております！

最後に、今回、指圧を受けていただいた方々、並びにボランティアに参加してくれた学生の皆様に心より感謝申し上げます。(教員 本多 剛)

New School Car for Trainers

トレーナー活動移動車登場！

待望の浪越学園に校用車が登場しました！　トレーナー活動現場の広がりで派遣頻度が多くなってきたことが大きな理由です。

主に関東を中心としたトレーナー活動で使用予定です。また、その他の行事などでも使用することもありますので、見かけた際には是非手を振っていただければと思います。

絶好の相棒を得て、更なるトレーナー活動の広がりに期待です！（教務　金子泰隆）

2019 Open Campus schedule ★

オープンキャンパス スケジュール

1/11（金）

2/26（火）　個別相談会

時間：13：30 ～ 16：00
※個別相談会は 13：30 ～、14：30 ～、15：30 ～

場所：日本指圧専門学校　本校舎

参加方法：
ホームページから、もしくはお電話による事前申し込みをお願いしております。各回に特色がありますので、詳細はホームページでご確認いただくか、お電話でお問い合わせください。

指圧研究会論文集 Ⅲ
2013 - 2017 Japanese & English

発行

発足して20年周年の『指圧研究会』では、指圧の効果を科学的に証明するという難しい課題に挑み続けています。

東洋療法学校協会主催の学術大会において2013年から2017年に発表した内容を論文にまとめました。日本語と英語のミックスした冊子に仕上がっています。
日本指圧専門学校 事務局にて販売中
¥1,200（税込）

●平成31年度 入試日程（平成31年4月入学）

試験区分	出　願　期　間	入学選考日
社会人入試［第 1 次募集］	平成 30 年 9月　3 日（月）～ 9 月13 日（木）	平成 30 年　9 月16 日（日）
推 薦 入 試 社会人入試［第 2 次募集］	平成 30 年10月　1 日（月）～10月11 日（木）	平成 30 年10 月14 日（日）
一 般 入 試［第 1 次募集］	平成 30 年11月　1 日（木）～11月 8 日（木）	平成 30 年11 月11 日（日）
一 般 入 試［第 2 次募集］	平成 30 年11月26 日（月）～12月　6 日（木）	平成 30 年12 月　9 日（日）
一 般 入 試［第 3 次募集］	平成 31 年 1月　8 日（火）～ 1 月17 日（木）	平成 31 年　1 月20 日（日）
一 般 入 試［第 4 次募集］	平成 31 年 2月　1 日（金）～ 2 月　7 日（木）	平成 31 年　2 月10 日（日）
一 般 入 試［第 5 次募集］	平成 31 年 2月 25 日（月）～ 3 月　7 日（木）	平成 31 年　3 月10 日（日）

JAPAN SHIATSU COLLEGE

浪越学園だより　第 18 号
発行日：2018 年 12 月 14 日
発行人：理事長 浪越和民
発　行：学校法人浪越学園 日本指圧専門学校
〒 112-0002　東京都文京区小石川 2 丁目 12 番 4 号
TEL.03-3813-7354 ／ FAX.03-3812-5003
http://www.shiatsu.ac.jp/

編集・制作：国際医学出版株式会社